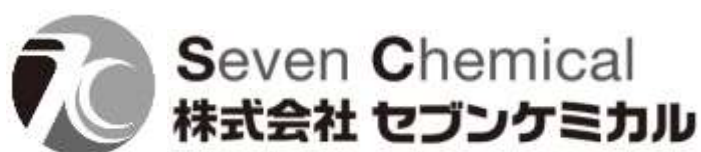


サイディングボードの
高耐候性・透明保護工法

セブンサイディング UV バリア
(標準工法)

施工要領書

2023年12月制定



目次

1. 標準 施工工程.....	2
2. 適応下地.....	2
3. 施工条件.....	2
4. 施工上の注意.....	3
5. 施工手順.....	4
6. 使用材料一覧	5

1. 標準 施工工程

セブンサイディング UV バリアは水系無機有機複合型樹脂を採用した透明保護材です。

サイディングボードを保護し、7～10年の樹脂性能が見込まれます。

工程間隔時間は23℃を想定しており、施工環境により異なります。

工 程	使用材料	混合比 (基材:硬化剤)	所要量 (kg/m ²)	工程間隔 (時間)	施工器具	
1	下塗り	セブンサイディング UV バリア(艶有)※	10:1	0.1～0.12	3～24以内	中毛ウールローラー 刷毛
2	上塗り	セブンサイディング UV バリア (艶有・半艶・艶消)	10:1	0.1～0.12	24 以上	中毛ウールローラー 刷毛

※ 下塗りを塗布した際に弾く場合は、弊社までご連絡ください。

2. 適応下地

多色系サイディングボード

3. 施工条件

- ① 外気温が5℃以下の施工は避けてください。
- ② 気温 35℃以上、躯体温度 30℃以上の場合は塗膜の乾燥時間が極めて短くなります。さらに、湿度80%以上の環境では塗膜の乾燥性が極めて悪くなります。そのため、ローラー作業性、及び仕上げに支障をきたす場合があります。
- ③ 材料の乾燥硬化の過程で結露・霧・雪・霜等が予想される場合は施工を避けてください。
一度透明になっても塗り付け後に短期間で降雨が当たると、塗膜が吸水し白濁と透明を繰り返す場合があります。
- ④ 風速5m/sec 以上の時は、塗材の飛散被害・塗付けムラやゴミの付着等の支障をきたします。十分養生対策を行うか施工を避けてください。
- ⑤ 作業終了後、24 時間は降雨の掛からぬようにしてください。
- ⑥ サイディングボードに破損・欠損や反り、またひび割れの程度が悪く補修が難しい場合には、あらかじめサイディングボードの張替えなど適切な補修をしてください。
- ⑦ 収縮目地や、シーリング材が劣化していて補修の必要な箇所は打ち替えを行ってください。シーリング材の打ち換え後は十分乾燥させた後、シーリング材の上は養生するか、見切るなどして塗装は避けてください。

4. 施工上の注意

- 必ず SDS、施工要領書を確認後、施工してください。
- 複数日にまたがって施工をする場合には予め目地などで見切り養生を行い、塗装ムラがおきないように施工をしてください。
- 2液型の塗料ですので、必ず計量器を使用し、規定量を混合し十分に攪拌してください。
- 本製品は透明仕上げの為、汚れたローラーやハンドルなどの道具は使用しないでください。
- 材料は直射日光や降雨を避け、必ず 5℃以上の屋内冷暗所に保管してください。
- 一度透明になっても塗り付け後に短期間で降雨が当たると、塗膜が吸水し白濁と透明を繰り返す場合があります。
- 塗り付け途中、又は乾燥途中で急に雨が降ってきたときは、少なくとも塗膜が乾燥するまで天幕などで覆って流出しないようにしてください。あらかじめ、軒養生も検討してください。
- 各工程での塗装後すぐに塗り付け面を養生シート等で密閉すると、養生シートと塗膜が接着し剥がれなくなることがあるため、養生シート等で密閉しないように注意してください。
- 塵埃や付着異物などは安全性の高い洗浄剤等で除去し、その後は十分に高圧洗浄で洗い流してください。
- カビや藻などの微生物汚染を生じている場合は、カビ取り剤やアルコール液で殺菌してください。
- 塵埃や付着異物などは施工前日までに下地洗浄し、エフロレッセンスの除去なども行い残留物が残らないよう高圧洗浄してください。(透明仕上げのため、塗装完了後に塗膜下の汚染物を取り除くことが出来ません。)
- 水洗後は下地を十分乾燥させてください。
- 他社製品が施工されている上に本製品を施工する場合、必ず目立たない場所でテスト施工して確認してください。
- 気温 5℃以下の時は施工を避けてください。
- 気温 35℃以上、躯体温度 30℃以上の場合は塗膜の乾燥時間が極めて短くなるため、施工範囲を小さいスパンで区切るなどして施工してください。さらに、湿度80%以上の環境では塗膜の乾燥性が極めて悪くなります。そのため、ローラー作業性、及び仕上げに支障をきたす場合があります。
- 作業用帽子、保護めがね、保護手袋、長袖作業着を着用して作業を行ってください。
- 溶剤ほどの臭気はありませんが、十分な換気をして施工を行ってください。狭い場所での施工の際には局部排気装置を設けて施工を行ってください。
- 施工当日に塗装面が汚れている場合、清掃してから塗装面以外の養生を済ませ本施工には入ってください。
- 攪拌機、ローラー等は施工箇所を考慮して適切なものをご使用ください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹼を使って洗い流してください。目に入った場合は水道水で十分洗浄し、医師の診断を受けてください。また、SDS を参照してください。
- 施工終了後、24 時間は降雨の掛からぬように養生してください。

5. 施工手順

(1)下塗り (セブンサイディング UV バリア 艶有)

- ① 下地調整が十分行われていることを確認後、下塗り工程を行ってください。
- ② セブンサイディング UV バリア基剤/硬化剤を 10:1 で清浄なハンドミキサー等で均一に混合します。希釈が必要な場合は水道水で 0～10% (重量比) 希釈したのち、清浄なハンドミキサー等で均一に混合してください。
- ③ 混合量は可使時間(約 2 時間)以内に使い切る量としてください。
- ④ 中毛ウールローラー塗りにより、塗り残し・塗り継ぎムラの生じないように均一に所要量を塗り付けてください。吸い込みが多い部分は、乾燥後 2 回塗布してください。(下地、サイディングボードの柄・模様などの状態により異なる場合があります。)

(2)上塗り (セブンサイディング UV バリア 各艶)

- ① セブンサイディング UV バリア 艶有の乾燥硬化(乳白色から透明)を確認後、上塗り工程を行ってください。
- ② セブンサイディング UV バリア(半艶・艶消)の基剤中に配合してある艶消し剤が缶底や縁に沈降し、層状態になっている場合もあります。十分に攪拌して下さい。
- ③ 基剤/硬化剤を 10:1(重量比)、0～10%水道水で希釈し清浄なハンドミキサー等で攪拌混合してください。(基剤の混合では別缶への空け替えをお勧めします)
- ④ 混合量は可使時間(約 2 時間)以内に使い切る量としてください。
- ⑤ 中毛ローラーにより、塗り残し及び塗りムラなどのカスレが生じないように塗り付けてください。セブンサイディング UV バリアの塗り残し、及びカスレ部分は塵埃等により経年で黒く汚れてくる場合があります。

6. 使用材料一覧

(1) 製品形態および容量

種類	製品名	容量	セット	混合比
下塗材	セブンサイディング UV バリア(艶有)	基剤 10kg /硬化剤1kg	11 kgセット	10:1
		基剤 3kg /硬化剤0.3kg	3.3kgセット	
上塗材	セブンサイディング UV バリア(艶有)	基剤 10kg /硬化剤1kg	11kgセット	10:1
		基剤 3kg /硬化剤0.3kg	3.3kgセット	
	セブンサイディング UV バリア(半艶)	基剤 10kg /硬化剤1kg	11kgセット	10:1
		基剤 3kg /硬化剤0.3kg	3.3kgセット	
	セブンサイディング UV バリア(艶消)	基剤 10kg /硬化剤1kg	11kgセット	10:1
		基剤 3kg /硬化剤0.3kg	3.3kgセット	

(2) 荷姿

種類	製品名	容量	荷姿	備考
下塗材	セブンサイディング UV バリア(艶有)	11kg	石油缶	2液型水系無機有機複合型樹脂
		3.3kg		
上塗材	セブンサイディング UV バリア(艶有)	11kg	石油缶	2液型水系無機有機複合型樹脂
		3.3kg		
	セブンサイディング UV バリア(半艶)	11kg	石油缶	
		3.3kg		
	セブンサイディング UV バリア(艶消)	11kg	石油缶	
		3.3kg		



東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル A 館 12F
 TEL 03(6809)2597 FAX 03(6809)2598
<https://www.seven-chemical.co.jp>